

会員投稿 『生涯スポーツとしてのボウリングに親しむ』

太田市 本田 武

定年退職してはや一年半が過ぎた。定年直後は何とも言えない解放感に浸っていたが、いつまでもそれが続くわけでもなく、またそばかりしていられない。規則正しい?会社勤めに比べれば、定年後の圧倒的な自由時間は、時として生活のリズムを狂わせ健康をそこないかねない。健康維持のためスポーツ(運動)も一策である。ランニング、サイクリング、エキスパンダー、ダンベル、ゴルフ打ち放し(時々コース)、ボウリングなどに取組んでいる。なかでも若い頃から好きだったボウリングが面白い。陸上競技のように年齢(体力)で制約されてしまうスポーツではないので生涯スポーツの一つとして位置付け楽しんでいる。そこでこのボウリングとの係わりを少し触れてみる。

プロボウラーへのチャレンジなど週二回の公式リーグ戦や、パーフェクトクラブの月例会、その他のトーナメントに参加している。本年6月には全国ボウリング場協会主催によるダブルス戦(シニアの部)全国大会群馬県予選を第一位で通過し、東京における全国大会に参加した。オープン直後の東京ドームホテルに宿泊し楽しく遊んだ。

好きなスポーツを楽しむのも良いがそれだけでは申し訳ない。会社勤務時代にはほとんど社会活動に参加出来なかったので時間の出来た今、多少の社会活動参加を心掛けている。

平成9年4月、太田市ボウリング協会が設立され、直後に太田市体育協会に加盟した、初代理事長に就任し今日に至っている。年間事業計画に基づき諸活動を推進している。協会の目的は「太田市におけるボウリング競技団体を統括し、これを代表する団体であって、健全なるスポーツとしてのボウリングの普及発展と個人、および加盟団体ならびに各家庭構成員の親睦と心身の健全な発達に寄与すること」である。

協会の年間行事は「市民選手権大会」、「市民年代別大会」、「市民大会」、「無料体験教室」、「夏休み親子教室」、「県民体育大会出場のための全行事」等である。県民大会におけるボウリングの位置付けはこれまでオープン競技であったが、昨年より競技種目(正式種目)となった。そこで太田市代表チームを編成するため強化選手を選抜し、4ヶ月におよぶ強化訓練を実施しチームを編成、県民大会に臨んだ。男子4名、女子2名による各団体戦である。結果は男女それぞれ第3位であった。自らは監督として參加した。本年も11月の県民大会にむけて強化訓練中である。今後も地域活動を大切にしていきたい。



太田パークレーにて